

# 社会福祉法人 敬愛会 シクラメン通信

(発行者) 岐阜県中津川市阿木2811-1 社会福祉法人 敬愛会

- 清流の国ぎふ健康経営宣言企業登録事業所
- 岐阜県新はつらつ職場づくり宣言登録事業所
- 岐阜県介護人材育成事業者認定事業所：グレード3 (グレード2審査中)



また、全員が集まるスタイルが取れないため、各ユニットに特設舞台を設け、職員が熱気に満ちた南中ソローンを披露しました。

2度3度の演舞に体力が消耗して、音を上げている職員もチラホラとあった様です。



例年の様に、ご家族の方々と一緒に楽しい一夜という訳には行きませんが、少しでも楽しんで頂ける様に実際に潜ぐれる鳥居を作成して神社の参道の雰囲気を出すと、職員が精一杯の「おもてなし」をさせていただきます。



家内安全

特養では、新型コロナウイルスの感染予防の為に、今年度の夏祭りの通常開催を断念し、8月23日(日)に施設内での行事として実施しました。

テイスリーブフロアを参道に見立てて数店の屋台を設け、密を避けるためにユニットごとの時間差で、縁日の様に巡るスタイルを取り入れました。

仮想観客(700人超!)  
熱く南中ソローン舞

コロナに負けず職員魂!

## 館内の祭囃子に浮かれ出で!



入所者の方からは、いつもと違う夏祭りの様子に、「室内は涼しくていいね」「鳥居の先に社が良かっただよ」「大変な焼がおいしかったね」など言葉をかけていただき、担当した職員も、ようやく肩の荷が少し降りてきました。



## 窓越し面会 慣れないインカムに悪戦苦闘しつつ・・・



面会イメージ

介護施設では、新型コロナウイルス感染予防対策として「緊急やむを得ない場合を除いては面会中止の対応」と行政より指導されています。



特養でも、看取りケア等で状態変化のあるご入居者以外は面会中止とさせていただいていますが、ご入居者とご家族の繋がりが一番大切なことから、予約制にてオンライン面会を実施して来ました。

## いつもと違う面会に戸惑いと笑顔が溢れて・・・



状況を見ながら制限を徐々に解除へと考えていますが、終息の兆しはありません。そこで現在は、パソコンやスマホなどの画面越しではなく、実際に対面していただくことによって、少しでもお互いに安心していただくため、特養玄関横の掃き出し窓を利用した【窓越し面会】を実施しています。

## 祝 シクラメンは10月1日に開所20年目を迎えました

皆様、お慶びの候、シクラメンは、この10月1日、開所20年目を迎えました。これも、皆様のおかげです。この10月1日、20年目を迎えるにあたり、皆様からいただいたお祝い状、お礼状、お祈り状、何卒お返しいたします。ご指図させていただきます。敬愛会 敬愛会 敬愛会

関係者 各位 敬具

社会福祉法人 敬愛会 理事 花田 敬

## 停電時の活躍に期待!

停電時であっても最低限の電気機器が使用出来るようにするために、電気自動車1台を導入しました。

この車の蓄電池を利用することによって、入所者全員のベットやナースコール、エレベーターなどの動力には使えませんが、特定の場所のエアコンや照明・テレビ・冷蔵庫・吸引機、パソコンなどに使用出来る電力を確保することが出来ました。





～技能実習生あれこれ話～ 実習生の出身機関（日本語や介護の基礎を学習）を紹介します

シクラメンでは、就業先の多くの事を知っていただく事を目的として、技能実習生が日本語や生活様式を学んだベトナムにある送り出し機関の越日国際人材センター（VNJ）と、常に連絡を取り合っています。



就業中の実習生の様子や難解事案の検討、次期内定者の就学状況などの情報を

共有しながら、時には現地スタッフの方とのオンライン面談で、実習生自らが日本での生活や仕事の様子を伝えるなど、お互いの懐かしい対面に笑みもこぼれているようです。



ハノイからのオンラインの様子（画面内が日本：シクラメンの実習生）

ベトナム・ハノイの越日国際人材センター（VNJ）



介護の実技授業にも熱心に取り組んでいます



vice president 渡辺輝明さん

Xin chào

次期来日予定の実習生の皆さん



技能実習生の皆さんは、VNJで数か月間の合宿生活を送りながら、日本語や日本の生活様式、介護の基礎などを学び、日本語検定試験の合格を目指しています。

現地で経営を担っているVNJの渡辺輝明さんからも、いつも温かいメッセージをいただいています。前号の「シクラメン通信」に目を通された時も、『介護現場の雰囲気や日本の介護スタッフの方々の温かさを知って頂く上で、VNJに在籍学習する、他の介護技能実習生内定者等にも閲覧してもらおうと考えております』との言葉をいただき、今後も充実した記事の掲載に心掛けなければと思っています。

そして施設では、実習期間内に多様な介護技術が習得できる様、声掛けや整容（洗面整髪・衣類の着脱）などから一歩ずつ、指導員の計画に沿った丁寧な指導を行っています。



一期生の3人と技能実習指導員（施設介護総括部長：成瀬正道）



えっ!!

意外に 特養の建物に初めて《シクラメン》の文字が...

当施設の建物には、不思議なことに開所当初より、名称の「シクラメン」の看板を掲げていませんでした。確かに名称は施設の顔であり、今までどうしても気が付かなかったのか、恥ずかしながら19年目にして初めて、東側ベランダと正面玄関上部の2カ所に、名称看板を掲げました。



グループホームを建設した際、側面に掲示した「しくらめん」が大きく目立っていた事も、あまり気にも留めていなかったのですが、入所者の方や初めて来られる方にとって、今までは表札の無い家の様なものだったと、反省しています。



祝敬老の日

9月21日、シクラメンでは敬老のお祝い会を催しました。

米寿の方が3名、白寿の方の2名に加え、今年は100歳以上の方が4名となり、百歳を迎えられた2名の方には百寿のお祝いとして内閣総理大臣より賞状が届けられ、101歳の方の百一賀と、102歳の方の百二賀の祝と揃って、施設長より福寿を受けられました。

白寿



百一賀



百寿



祝長寿



百二賀



ご長寿おめでとうございます。皆さんが築き上げてきた長年の人生の歴史の一部となれた私たちは、とても幸せです。これからの歴史を刻む時もご一緒できれば嬉しく思います。敬愛会 職員一同

《雨天時の乗降や日除けに便利》

雨除けオーニング設備



もう一つ、開所当時から無かった物があります。「特養玄関の車寄せ」雨天時の通院や送迎時の乗降が大変でしたが、すでにお気付きの方もあると思いますが、平成30年10月、愛のともしび基金の助成金で、電動開閉式のオーニングを設置し、今では四季を通して活躍中です。